

スウェーデン切手から考える

切手による比較文化笑論

小川 義博

切手からその国の社会、生活文化を少しでも知ることができればと、オーストリア、ドイツ、フランス（以後3ヶ国と記す）について切手から考え紙面を汚してきた。^注今回、非同盟主義を貫き、二度の大戦で中立を守り、平和と民主化に努め、福祉国家といわれ、大陸から海を隔てた北欧の国、スウェーデンを切手から考えてみたい。

検討対象としたのは先の3ヶ国と異なり、商業主義的な発行増加がみられないことから、1944年から2016年に発行された1039件、2872種の切手である。

スウェーデン切手の発行状況

発行の推移は図1の様に1967年～1990年代にかけては増加しているが、わが国を含め、多くの国のように2000年以降の著しい増加は見られず、件数、種類とも落ち着いた発行状況である。また、1件当たりの発行種類数をみると図2の様に半数以上が1、2種類の発行であり、わが国のような1件で10種類発行が常態化した状況とは異なる。また、4種、5種発行が20%と多く占めるのはブックレット発行というスウェーデンの切手発行の特徴を示している。また、スウェーデン切手と言えば、我が老いた頭に浮かぶのは、味わいのある凹版切手の発行がどうなっているかということである。過去70年に発行された切手2876種の印刷割合をみると図3のように70%の切手

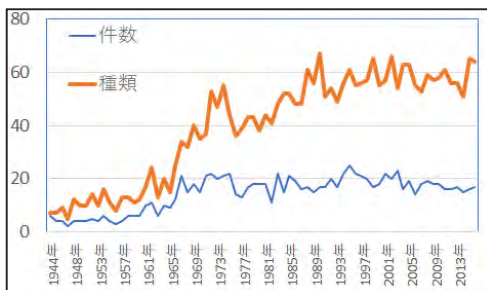


図1. 切手の発行件数と種類の推移

注：稲門フィラテリー 51,57,69号

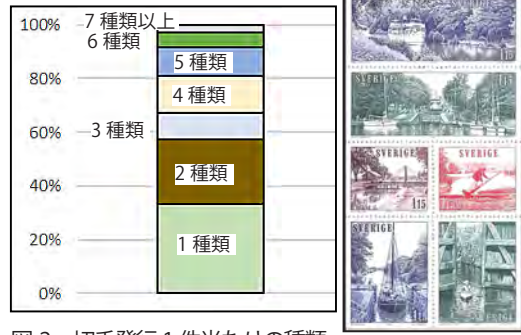


図2. 切手発行1件当たりの種類 6種ブックレット

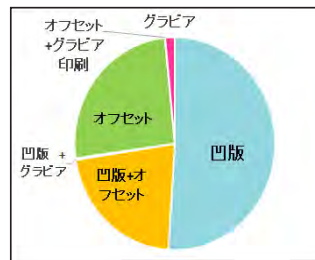


図3. 切手の印刷方法の割合

が凹版で印刷されており、古い記憶が裏付けられたと感じた。しかし、これを1944年から時系列でみると、図4のごとく1980年半ばを境に大きく印刷方法の変化がみられる。それまで例外的に発行されていたグラビア、凹版+オフセット印刷切手が急激に増加して、凹版のみで印刷される切手が減少し、発行されなくなってきた。こ

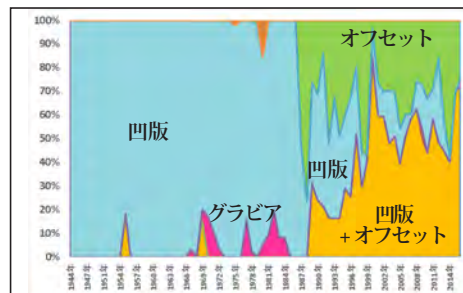


図4. 切手印刷方法割合の推移



れはオーストリア、フランスと同じ傾向であるが、その進行は緩やかなものである。可能な限り切手の美の壺である凹版で印刷される切手が発行され続けられることを願うばかりである。

このように発行されてきた切手を整理、検討して、スウェーデンを考えていきたい。

切手の発行内容から考える

1.寒冷帯の森林、湖沼の国土

一部が北極圏、国土の65%が理想的に管理され、日本とは異なる植物相で平地の森林、10%が湖沼、外にはボスニア湾、バルト海で囲まれた自然環境の中の生活、文化が切手に感じられる。

①日照を重視し自然の中での生活を楽しむ

北極圏に近いと、日照が年間を通じ少ないからであろう、夏を主題にし戸外活動を描いた切手と、冬の自然を楽しむ生活を感じさせる切手が多く発行されている。Summer の言葉が記された切手が8件、51種も発行されている。

Midsummer Festival, Summer Activities, Summer Paintings, Summer by the Lake, Summer in Bohuslan, Summer at the Allotment, Food & Cooking など、これら51種、全て戸外での場面であることも注意されることである。

また、健康増進という観点から戸外活動の楽しさ、大切さ、休暇の過ごし方を描く切手も多く、観光切手ではなく、生活の在り方を考えさせる自然を描く切手が多くみられる点は3ヶ国には見られない。また、クリスマス切手に昔ながらのクリスマスを迎える準備風景を描いた切手が他の国に比較し多く発行されており、日の短い北国の厳しい冬の生活を豊かにする努力を切手に感じられる。

②湖沼・森林の環境の活用

舟形巨石記念跡、舟葬にはじまりバイキングの伝統と、約1000の湖沼と、海で大陸と向き合う地理的環境での水運、海運が生活の重要な柱である国。それらに関連し



1988年発行 Midsummer Festival



1989年発行 Summer Activities



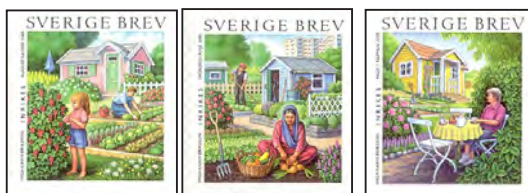
1993年発行 Summer Flowers



1996年発行 Summer Paintings



2002年発行 Summer in Bohuslan
Bohuslan=ブーヒュスレーン地方



2005年発行 Summer at the Allotment
Allotment=市民菜園



2006年発行 Summer by the Lake



2008年発行 Food & Cooking

注：NHK 美の壺「切手」NHK 出版



1973年発行観光切手



1977年発行健康推進運動



1944年発行
海図発行300年



1957年発行
海難救助隊50年



1958年発行
船内郵便50年



1983年発行旅行PR



1977年発行健康推進運動



1990年発行
バサ号船首



1976年発行
船員教会100年



2004年発行
ストックホルムの島々



2007年 2016年発行 Holiday
Vacationをゆっくり過ごす姿と
道具を描いた切手



海辺で読書
釣り



1981年発行
帆船



2003年
東インド会社



2014年発行
砕氷船



1982年発行
海上浮標



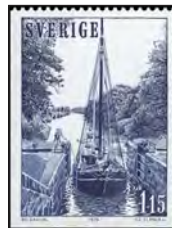
1977年発行 クリスマス切手
小鳥のため小枝 麦わらトナカイ クリスマスキャ
東準備 つくり ンドルの手作り

た切手が他国より非常に多く発行されている。舟、船、港、海図、海底調査、海難救助等、そして水辺を描く切手、水運海運を支える制度等を描く切手が200種にもなっている。

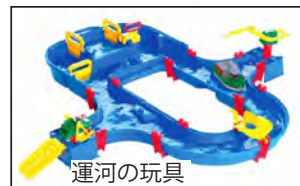
更に、注意を引いたのが運河を描いた切手が9種発行されていることが他国には見られないものである。特に、Dalsland Canalを描いた切手である。水道橋の様な水路の高架橋の運河であり、イギリス等にもあるようであるが、運河の社会での位置づけが、少なくともわが国とは比較にならない程高いと判断できる。これは運河の利用が多いヨーロッパ諸国と比較する必要があるが、少なくとも過去検討した3カ国には運河の切手は発行されていないと思う。また、わが国では目にし



Dalsland Canal



Gota Canal



運河の玩具

たことはないが運河の玩具も発売されていることから運河の社会での位置を考える。

更に、傾斜地森林割合の高いわが国と異なり、平地の親しみやすい植物相の、管理の容易な森林が切手にどう見られるか。森の樹木以外の動植物も切手に多く描かれている。しかも、日常の食生活を豊かにする食材を育む森を意味している切手が多くみられる。



1959年発行 森林行政100年
1977年発行 斜面でなくやぶ漕ぎも必要ない 森林風景



2000年発行 Swedish Forests
2007年 夏の森



2004年発行 森は食料貯蔵庫 The Forest Larder



1996年発行 アンスタケ
1977年発行 野生黒莓
1996年発行 冬のベリー
2014年発行 ローズヒップ

このように切手を整理してきて、スウェーデンの自然に対する見方が3ヶ国とは異なることを感じる。少なくとも自然の風景だけを描くことが少ないオーストリア、ドイツとは明らかに異なる。むしろ、風景切手、自然公園切手、動植物切手などの発行をみると、わが国に似た自然観を感じる。更に、休暇、週末を自然豊かなセカンドハウスで過ごす生活が一般的なスウェーデンの社会と自然との相互の関係を考えさせる切手発行が多い。

2. 人物切手は多いがスウェーデンならではの 特徴がある

個人を特定できる人物切手が過去の3ヶ国に比較すると18%とやや少ないが、わが国より圧倒的に多い。(オーストリア15%、ドイツ24%、フランス20%、日本

3%)しかし、ノーベル賞創設そして立憲君主国であることの影響がみられる。ノーベル個人ではなく受賞者の切手が人物切手の29%、王室関係切手が27%を占めており、3ヶ国と同じ意味の人物切手は8%であり、3ヶ国よりはるかに少ない発行である。

王室関係人物は検討対象年からしてグスタフ6世、カール16世、シルビア女王などである。家族で切手になっているのは、国民



グスタフ5世、グスタフ6世、カール16世、シルビア女王



立憲君主の国 王室関係で約170種が発行されていると王室の距離を縮める努力の表れの一つであろうか。

人物切手の30%を占めるノーベル関係切手ではArnold Nobel個人の切手は少なく10種に満たず、残りのほとんどがNobel Prisと記された受賞者を紹介した切手である。Nobel Pris切手は126種見つかる。

1961年～2001年まで毎年1種から5種程度発行され、以後は不定期な発行となっている。126種のPris切手は何種かのデザインに整理でき、中に人物像はなく受賞対



1946年 ノーベル死去50年



1995年発行 Nobel遺言100年



1997年発行 Nobelと
ニトロ含むオガクスの
ダイナマイト断面



1997年発行ノーベル賞100年
Nobelと平和賞メダル



懐かしいデザイン

人物のみ
デザイン

人物と建物等の
デザイン



受賞者の作品、研究業績のデザイン
川端康成「千羽鶴」、宇宙マイクロ波、放射
性炭素年代測定法をイメージしている

上の左2種、ただ一人複数 Pris 切手に Marie Curie 夫人

象の内容だけのデザインも見られる。受賞者に経済学賞受賞者は含まれず、ノーベル賞とノーベル記念スウェーデン銀行経済学賞と一線を画した発行である。

王室、NobelPris以外での人物切手は3ヶ国よりはるかに少ないだけでなく、その内容も異なる。まず、ノーベル切手のせいか、外国人が非常に少なく、スウェーデン人がほとんどあり、しかも3ヶ国に目立った政治家、宗教関係、軍人などが少なく、暗殺された政治家2人の追悼切手ぐらいである。もう一点、3ヶ国で見られたナチの影、レジスタンスの姿が見られないことが印象的である。強いて探せば、スウェーデンの杉原千畝と言えるか、外交官ワレンバークの切手ぐらいである。

一方、文化、芸術の人物が圧倒的に多く、生誕、死去の周年での発行が目立つ。その中で、「長靴下のピッピ」作者 Lindgren、植物学者 Linne、凹版の彫金作家 Slania 3人の切手の発行は注意される。



暗殺されたリンド外相 バロメ首相



ワレンバーク
外交官の立場からハンガリー
で迫害されていたユダヤ人
10万人を救い出し、戦後進
駐ソ連軍に拉致、行方不明。

Lindgrenは生誕100年、80才誕生日、死去に際し追悼等19種、Linneは生家、生誕300年、死去200年等11種、Slaniaは生誕70年、作品1000種記念で4種と他の国に見られない凹版彫刻分野で発行がされており、3ヶ国の人物切手にも見られなく、スウェー



Lindgren関連切手

2002年発行
追悼

2008年発行
生誕100年

1987年発行
80才誕生日



Linne 関連切手

1963年発行
Linne 生家

1978年発行
死去200年

2007年発行
生誕300年



Slania関連切手

2000年発行

1991年発行 Slania 生誕70年 Slania 切手1000種発行

デン国民のこの3人への思い、評価が伝わってくるようである。

3. 切手に宗教の影が薄い

切手に見られた宗教関連ではオーストリアの切手には司教管区、司教監督区、司教区、ドイツ切手にはキリスト教宗派の大会、会議に係るものが見られた。フランス切手には「政教分離原則」(ライシテ) からかほとんど見られなかった。スウェーデンは美術、建築を除くと宗教を強く感じさせる切手は7件、16種と少なく、しかも現在でなく過去の宗教に関するものがほとんどである。さらに、クリスマス切手は46年間に228種発行されているがステンドグラス等の美術品を含めてもキリスト生誕等の宗教画は少なく20%に過ぎず、80%はデコレーション、花、菓子、児童遊戯等の宗教をあまり感じさせないものである。特に、2000年以降の切手に宗教色を感じ



1964年発行
大司教区800年



1993年発行
ウプセラ集会400年
宗教を感じさせる少ない中の宗教関連切手



1998年発行ヴェストファーレン条約(宗教戦争終結)350年



1968年発行
世界教会会議

じさせるものが発行されてない。このように切手からは宗教が表立って、目立たない国と考えられる。ふと、「スウェーデンの人には森が教会なのだ」と読んだことを思い出した。

4. 周年記念切手の発行が少ない

過去検討してきた3ヶ国と比べると周年を記念する切手が少ない。全体の14%とフランスに次いで少なく、オーストリア、ドイツより明らかに少ない。より正確に比較するため、1944年～1991年の期間に限定し、記念対象を社会事項(開始、完成等)、人物(生誕、没年等)に分類し、種類数でなく発行件数でスウェーデン、オーストリア、ドイツを比較した(図5)。スウェーデンは周年切手が27%と他2ヶ国より20%程度低い、人物周年が低いのは政治家、軍

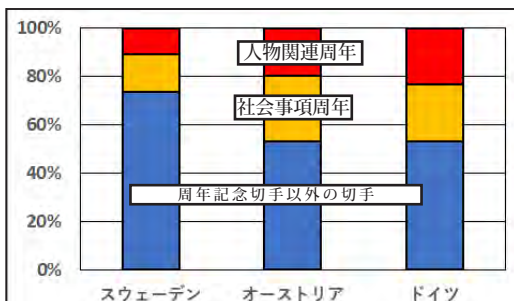


図5. 国別周年記念切手割合の比較(1944-1991年)

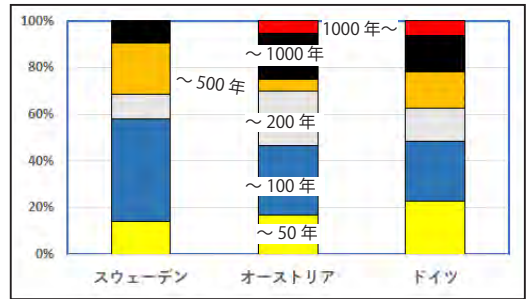


図6. 社会事項周年切手の記念する年数別比較

人等が切手に少ないためと考えるが、社会事項周年が少ないのを理解するために、記念周年別にその割合を整理した(図6)。スウェーデンは比較的年数の少ない200年以下の割合が多く、500年以上の周年切手が明らかに少ない。これは大陸部とスカンディナヴィア半島部の社会の発展に年代的段差があることからであろう。このことを痛感させるのが都市誕生記念切手の存在である。スウェーデンではストックホルム誕生1件が700周年に見られるのに対して、ドイツは1000周年以上20件のうち14件の70%、オーストリアでは1000周年以上13件のうち12件の92%である。また、スウェーデンは50～100周年記念発行が多く、50周年記念がドイツより少ないのは社会資源、制度等の充実時期のズレと2度の大戦後の社会変化の影響が現われてはいないかと思いたい。他の国も加えての検討が必要であろう。

また、スウェーデンの周年切手発行は



1953年 Stockholm 市 700年
1985年 聖カヌーテの贈物 900年
1962年 地方自治法 100年



ドイツ都市誕生2000年 シュバイエル市、ボン市、アウスグアブルグ市



オーストリア
都市誕生
Bregenz 市 2000年
Ansfelden 市 1200年
Kostendorf 市 1200年

年代によってかなり違いがみられ、1940年、50年代に多く発行されていた。

周年と関連して留意せねばならないのが、宗教関連、都市の歴史とは異なる考古学、埋蔵文化財から歴史を考えさせる切手がスウェーデンで多く発行されていることである。3ヶ国にはほとんど発行されていない先史時代の巨石記念跡物、ロックアートからヴァイキング時代(800~1050年)の出土品等の切手である。フランスでラスコー洞窟画等が大型美術切手に数種みられるが、ドイツ、オーストリアでは見られない。しかし、スウェーデンでは岩壁絵画数種類が普通切手に多く描かれている。これらロックアートはラスコー洞窟画より年代としてはかなり新しく、家畜、農耕具、大型舟の使用を描いている。

巨石記念跡物は石器時代 BC3600 ~ 2900 年の墓とストーンサークルに準じた舟形(だ円)の環状列石が切手に描かれている。更に、その後続く、船と一緒に鉄の使用のヴェンデル時代の出土品が切手に描かれている。

次に、だいぶ時代を下ったヴァイキング



岩壁画の普通切手

旧石器時代のラスコー洞窟画とは異なり北歐青銅器時代(BC1700 - 500年)の岩壁画であり、描画内容もかなり異なっている。



Västergötland 地方の
巨石の墓



59 の大きな岩で形成された
南スウェーデンの巨石記念碑

時代(Viking Age、800 ~ 1050年)と呼ばれる時代の生活、武具を描いた切手が発行されている。これらの切手から大陸との社会、文化の進行の差、北歐の人々のヴァイキングへの誇らしい思いを感じる。

参考までに、この時代を3ヶ国の切手から探すと都市自治制 850年(オーストリア)、マインツ大聖堂 1000年記念切手等があり、大陸との歴史の差を感じることができる。

更に、時代を下った出土品として処女航海でストックホルム港に沈没した王室の軍艦ヴァーサ号が博物館となって保存され切手に描かれている。



刀の柄 盾の留具 兜の彫金
ヴェンデル時代の出土品



ヴァイキング時代の集落風景と独自の装飾模様



ヴァイキング時代の武具



ドイツ
マインツ大聖堂建立
975年起点



フランス
ランデヴェネック修道院
485年起点



ヴァーサ号船尾を描く切手と展示物

5. 調理、食材関係の切手が多い

前述の寒冷帯の森林、湖沼の国土の中で「森の貯蔵食糧」切手を対象に、自然特に、森に親しむ生活で、自然の中の食材切手の存在に触れた。更に、それも含めて、調理、料理、食材、菓子、料理人等、広く食生活に関する切手が3ヶ国より目立つ。特に、美食の国フランスと比較しても多く、幅広い領域を切手にしている。European-Honey-Bee、berries-and-Fruits、Famous Swedish chefs、Agriculture & Food、Gastronomy、Hot Coffee、Tasty Morsels、Spices、Delicious Swedish Delicacies等の食生活、料理関係の一連の複数の切手が23年間発行されており、特に、2002年以降は毎年発行され120種以上にもなり、3ヶ国には見られない数であり、チーズ、ワイン、料理が主である美食の国、フランス、イタリアの切手とは質も異なっている。そんな中に寿司がFood in Sweden としてわが国の寿司より上寿司の感を与える切手が発行されている。

さらに興味深いのがFamous Swedish chefsとして発行された6種の人物切手である。「科学と芸術としてのクックアート」

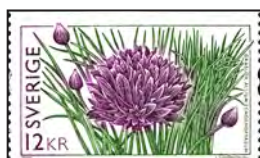


Honey-Bee

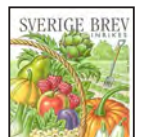
Agriculture & Food



Gastronomy 美食



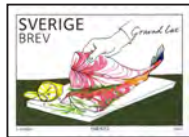
Spices 香辛料植物



Agriculture & Food



Delicious Swedish Delicacies



Food in Sweden



susi



日本の susi

の著者、著名なフードライター、マキシムで修業した有名レストラン経営者、油を使用しない スチームと熱風での揚げ物風料理人、料理大学教授、2つ星レストランシェフ等であり、食生活、食文化への姿勢に他国にはないものを感じる。加えて、これらの内2種をよく見ると、調理場に動物の宙づりが描かれ、わが国とは異なる食文化、食習慣を感じさせ、オーストリア切手にも感じた狩猟環境のもつ文化背景を感じた。



Famous Swedish chefs
Cajsa Warg 'Hiram' Huldt



上切手の調理場にはウサギ、鳥が吊るされ

6. 国際的事項の切手発行が多い

ハンザ同盟と、対するカルマル同盟を周年切手にし、複数隣接国との橋の建設、移民との共生、軍縮・人権保護、国際協調等、を切手に多く取り上げていることなど中立主義を掲げ国際平和に貢献しようとする事が目に映る。また、関連するかJoint発行切手が16ヶ国44種にもみられる。



1986年発行
軍縮、人権保護

2000年発行
オスロ橋(デンマーク間完成)



Joint Issue 切手

2011年ポーランド 2005年アメリカ 1997年中国

以上、過去の3ヶ国の整理よりも落ち着いた気分でスウェーデン切手は整理ができたような気がした。その理由は花鳥風月というか、自然風景、動植物の切手が適度に発行され目にできたためであろう。